

実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	このはな西都原古墳群の桜並木再生活動
助成事業者	全建緑陽会
代表者	大田原宣治
<p>(目的)</p> <p>桜を植栽することで美しい宮崎づくりを推進します。</p>	
<p>(概要)</p> <p>宮崎県を代表する観光地である西都原古墳群は、年間約80～90万人の観光客が訪れ、春の桜と菜の花、夏のヒマワリ、秋のコスモス等と季節折々に古代のロマンと素晴らしい景観を沢山の方々が楽しんでいます。</p> <p>また宮崎県初の日本遺産である南国宮崎の古墳景観は、西都原古墳群、新田原古墳群、生目古墳群の広大な古墳群と南九州特有の横穴墓で構成されています。</p> <p>このうち、西都原古墳は古墳祭りやこの花ハナマラソンの舞台でもありますが、一般県道318号西都原古墳線沿線の桜が枯死して、補植されないままとなっています。</p> <p>全建緑陽会の活動により、西都 I C 付近の枝垂れ桜の剪定や支柱整備が終了したため、引き続きボランティア活動を実施する場所を西都原古墳にして、八重桜、陽光桜、河津桜を補植することで美しい宮崎づくりに貢献します。</p> <p>また、これまで西都原公園の桜の剪定、施肥、支柱整備などの植栽管理を行った実績がある美しい宮崎づくり活動団体「庭師二十日会」の指導をいただいて、一緒になって実施し、今回は八重桜等の補強を4本、陽光桜4本、河津桜4本の合計12本を植えました。</p> <p>すでに花芽が付いていて一部は開花していますので、春先には花見が楽しめます。散策しながら健康増進と気分をリフレッシュしてみてください。</p>	